

## 強い基盤づくりと 提案型営業をめざして

ジェイカムアグリ株式会社

取締役 原 田 万 佐 夫



新年明けましておめでとうございます。

平成24年の年頭にあたり、本誌「農業と科学」をご愛読頂いております皆様のご多幸とご繁栄をお祈り申し上げます。

また、昨年3月11日に東日本大震災により、被災されました皆様に改めて衷心よりお見舞い申し上げます。

わが国の経済は、東日本大震災による急速な景気の悪化から持ち直しつつあるものの、欧州財政危機などに起因する円高の進行や海外景気回復の鈍化などにより、先行き不透明感があります。

肥料業界におきましても、農産物価格の低迷、農業の構造問題による耕作面積の減少などにより、肥料需要の減少にまだ歯止めがかからない状況です。加えて、肥料価格の先高感から農家の資材価格に対する姿勢が一層厳しく、依然として、厳しい販売環境が続いております。

このような環境の中、弊社は平成21年10月にチッソ旭肥料社と三菱化学アグリ社が合併して早2年が経過しました。合併当初はなかなか「ジェイカムアグリ」と覚えていただけなく苦労苦心しましたが、3期目に入り、皆様覚えていただけるようになりました。

また、弊社は、合併により、土中でゆっくり効く化成肥料、植物生育に合わせて肥効を調整できる被覆肥料、勿論汎用化成肥料と取り揃えています。

さらに、皆様方とともに長年積み上げてきた展示圃試験等データの蓄積もあります。

これから肥料販売に必要な、人・物・経験の蓄積と発信できる基盤も整ってきました。

一方、現在、農業に求められるものは、消費者目線を意識した「美味しい」「安全」「環境にやさしい」等多種多様です。

これから弊社に求められるものは、かかる環境を十分認識して、農家の方々のニーズを適確に捉え、スピーディーに対応する「提案型営業」を意識した販売活動ではないかと思えます。

今後とも皆様のご期待に沿うべく日々努力して参りますので、皆様方には倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、本年も本誌「農業と科学」のご愛読を深くお願い申し上げますとともに皆様方のご多幸とご繁栄をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。